

平成 30 年度 百合丘高等学校 年間指導計画

教科・科目	国語・現代文研究	学年	第3学年	教科書	自主作成教材 第一学習社「スタディアーク現代文」 いっずな書店「新現代文単語」
		単位数	2単位	副教材	

学習目標
国語総合・現代文で学んできた内容の発展的学習により、国語の向上を目指し、確実な読解力を身につけ、深い作品理解力や思考力・想像力を目指す。また、さまざまな分野の文章を読み解くための豊富な語彙を身につけ、応用力を養い、人生を豊かにする態度を育てる。

- 学習方法**
- 授業における課題に対して自ら考え、また、周りの生徒と共同で考える活動を行います。
 - 授業においては現代文研究専用の問題集を利用。
 - 現代文に頻出の単語を身につけるために、小テストがあります。
 - 家庭学習における課題の提出。最後まであきらめずに取り組みましょう。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
		重み付	
a	関心・意欲・態度	20%	言語文化や伝統に対する関心を深め、国語を尊重して、生涯にわたって文章に親しもうとする。
b	話す・聞く能力	10%	評論・小説・随想などの文章を読み、評論の論点、小説の着眼点を見つけ、説明できるようにする。
c	書く能力	10%	評論・小説・随想などの文章を読み、まとまった量の内容を要約し、自己の表現力や推敲する力を高める。
d	読む能力	20%	評論・小説・随想などの文章をある程度の速度で読み、書き手の意図などを的確にとらえられるようにする。
e	知識・理解	40%	評論・小説の中で頻出する語句に着目し、その語句の関連事項を学び、重要単語の背景にある時代や文化、社会などに関する知識を深める。

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d	e		
前期	評論	18	脳と「錯覚」 思春期に訪れる問の対処法 科学の倫理性 「紙」とメディア 教育のジレンマ 家庭・地域社会の弱体化と子どもたち	2000字程度の文章を読み、主語述語を押さえた文脈の理解と百字程度での内容を要約する。	○		○		○	a:時事問題などについてニュースなどで予備知識を蓄えている。 b:スタンダードなテーマについて、本文以外に新聞のコラムなどで知識を得ている。 c:百字程度で内容を要約することができる。 d:キーワードに着目して、文章の構成をつかむことができる。 e:接続詞に注目して、次の論述を予測しながら読むことができる。	・課題等の提出状況と内容 ・観察 ・定期考査 ・授業演習問題 ・各時間における小テスト提出 ・授業時の小テスト ・ワークシートの作成と提出 ・意見の集約や発表 ・各提出物
	随筆	4	Nさんと出会った夜 飛ばないで飛ぶために	2000字程度の文章を読み、主語述語を押さえた文脈の理解と百字程度での内容を要約する。 随筆文章を読んで、筆者の考え方や生き方について汲み取る。 随筆文章を読んで、筆者の考え方や生き方について汲み取る。 人生観、読書論などを中心とした随筆を読み、筆者の視点から内容を考えさせる。 筆者のものの見方・考え方をたどりながら社会や自然の把握の仕方には多様性があることを理解する。	○		○		○	a:随筆を読みながら、日本の情趣や日本的な思想を理解し各作品を味わおうとしている。 b:作品以外にも日本についての様々な情報を得ている。 c:百字程度で内容を要約することができる。 d:筆者の視点から見た、様々な観念、概念などについて自分の言葉でまとめることができる。 e:まとめる力を自分が書く文章表現の中に生かすことができたか。	
	小説	6	東京のフラニー 青べか物語 堤防	2000字程度の文章を読み、主語述語を押さえた文脈の理解と百字程度での内容を要約する。 本文を読んで、登場人物の心情を自然に想定できる。 本文の内容に関する質問に、根拠をもって答えると同時に、自分なりの考えを述べる。 小説の基本的な読解について、1・2年次の学習を基本にしてふりかえりをおこない、高度な読みの習得を目指す。	○		○		○	a:長編物語の構成や展開に注意して読むことができる。 b:登場人物の行動や心情を理解し、説明できる。 c:百字程度で内容を要約することができる。 d:文章の構成に即して内容を的確に捉えられている。 e:主語・述語を押さえて文脈を理解できる。	

後 期	評論	18	文化資本の差異 詩と型式 情報化時代の科学 文学を通して出会う 他者 何を〈事実〉と呼ぶ のか リスク社会という時代 焼き物好きの視力	3000字程度の文章を読み、主語述語を押さえた文脈の理解と百字程度での内容を要約する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	a:時事問題などについてニュースなどで予備知識を蓄えている。 b:頻出するテーマに対する常識的な意見への反論や、一般的な意見を別の視点から説明できる。 c:百字程度で内容を要約することができる。 d:キーワードに着目して、文章の構成をつかむことができる。 e:自分の書いた小論文などへの参考にし、批判的に読むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題等の提出状況と内容 ・観察 ・定期考査 ・授業演習問題 ・各時間における小テスト提出 ・授業時の小テスト ・ワークシートの作成と提出 ・意見の集約や発表 ・各提出物
	随筆	8	再会 日常生活の挑戦 巡礼と信仰	3000字程度の文章を読み、主語述語を押さえた文脈の理解と百字程度での内容を要約する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	a:随筆を読みながら、日本の情趣や日本的な思想を理解し各作品を味わうことができる。 b:筆者の視点から見た、様々な観念、概念などについて自分の言葉で説明できる。 c:百字程度で内容を要約することができる。 d:筆者の視点から見た、様々な観念、概念などについて理解できている。 e:まとめる力を自分が書く文章表現の中に生かすことができる。	
	小説	10	博士の愛した数式 急須 スコレNo. 4 門	3000字程度の文章を読み、主語述語を押さえた文脈の理解と百字程度での内容を要約する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	a:長編物語の構成や展開を理解できている。 b:登場人物の行動や心情を説明することができる。 c:百字程度で内容を要約することができる。 d:小説を深く読み味わい、自分の文章を推敲する力にしていけることができる。 e:まとめる力を自分が書く文章表現の中に生かすことができる。	
合計時数(55分授業)		64										